

令和五年度 個別学力検査（後期日程） 問題 教育学部 国語教育コース

小論文（問題用紙 2枚 別紙解答用紙 2枚）

次の【資料】は、日本とアメリカの小学生を対象に行なった調査（一九九六年実施）に基づいて、日米の作文教育の違いを論じた書物の一部である（ただし、本文の一部を省略したところがある）。これを読んで、あなたが児童や生徒の作文を指導する際に最も重視すべきだと考えることを、本文の内容に即して具体的な根拠を示しながら論じなさい。なお、論述に際しては、左に示す「条件」①～③を満たすこと。

「条件」

- ①【資料】の内容に触れること。
- ②自らの知識や経験に触れること。
- ③一〇〇〇～二二〇〇字で記すこと。

著作権の関係上、公表しない。

(渡辺雅子『納得の構造——日米初等教育に見る思考表現のスタイル——』(二〇〇四年)より)

著作権の関係上、公表しない。